

授業科目	ハングル入門(2年制コース)				実務家教員担当科目	-					
単位	1.	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期				
担当教員	韓 京我										
授業概要	ハングルの文字と発音を少しずつ覚えながら、日常的に用いられる挨拶などの決まり文句や身近な物事について、会話表現を中心に学び、韓国語で簡単なやりとりや自己紹介ができるようになることを目指す。なお、授業は指定の教科書を中心に進めるが、受講生の理解を助けるため、補充資料や練習用プリントを用いることがある。										
授業形態	講義	授業方法	プロジェクターを利用して理解度を測る								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>ハングルの読み書き、挨拶、自己紹介ができる。</p> <p>1. 日常の挨拶、感謝、謝罪などの簡単な決まり文句、返事やあいづちなどを適切に使えるようになる。</p> <p>2. 身近な物事・人を表す単語や表現などを聞いて意味が理解できる。</p> <p>3. 授業で学習した単語や文法を使って書かれた文書を理解し、正しく読んだり、書いたりすることができる。</p>										
理想的レベル	<p>1. ハングルの読み書きが正しく自由にできるようになること。</p> <p>2. 韓国語で質問し、その答えを聞き取ることができる。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)			備考							
試験	50%										
小テスト	20%										
レポート											
発表(口頭、プレゼンテーション)	10%										
レポート外の提出物	10%										
その他	10%										
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	-	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	CH10505J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安(時間)	
復習: 該当部分の復習										1	
授業計画											
第1回	<p>オリエンテーション</p> <p>韓国語とハングルの概要</p> <p>第1課 基本母音字、ヤ行の母音字</p>										
第2回	第2課 基音子音字、出会いの挨拶										
第3回	第3課 濁る子音字、別れの挨拶										
第4回	第4課 激音の子音字、日本語のハングル表記法										
第5回	第5課 つまる子音字(濃音)、尋ねる・答える										

第6回	第6課 ワ行の母音字、ハングル表で練習、感謝Ⅰ
第7回	第7課 パッチム、感謝Ⅱ
第8回	第1～7課の主要学習内容について復習 中間テスト（文字読み取りテスト）
第9回	第8課 プレゼント、何、感嘆表現、連音化
第10回	第8課 名詞文～です、人の呼び方 第9課 謝罪、発音のルール
第11回	第9課 「ㄱ」の発音、鼻音化、激音化 第10課 自己紹介、1人称代名詞、～は、
第12回	第10課 ～は<疑問詞>ですか?、会話練習
第13回	自己紹介・挨拶・会話テスト
第14回	第11課 日付、激音化、月日の言い方、韓国の記念日
第15回	第8～11課の主要学習内容について復習 全体的なまとめ
テキスト	長谷川由紀子 著 『コミュニケーション韓国語 聞いて話そうⅠ』 白帝社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	随時紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	1. 提出された課題を返却する。 2. 課題や小テストの正答を公開し、書き直す。
学生へのメッセージ・コメント	1. 教科書添付の音声ファイルを活用して対話になじむように取り組むこと。 2. 予習・復習はもちろん、ハングルの読み書きを徹底練習すること。 3. 習い覚えた韓国語を日常生活の中でどんどん使う習慣をつける。